



神奈川大学フロンティアクラブ会報

発行日 2017年10月1日
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報専門委員会
事務局 神奈川大学 総務部校友課内
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661(代)
FAX.045-481-2741

第 28 号



2017年度 村橋・フロンティア奨学金
奨学生採用証授与式

前列左4人目から、兼子学長、村田会長、正野理事長、小林常務理事、吉井常務理事（役職は平成29年7月6日時点）

村橋・フロンティア奨学金
授与式開かれる

平成29年度の村橋・フロンティア奨学金授与式が7月6日、横浜キャンパス1号館で開かれ、当クラブの村田会長を始め学校法人神奈川大学正野幸延理事長、神奈川大学兼子良夫学長の他大学幹部が出席して行われた。村田会長は次のように述べ、奨学生を祝福した。
「奨学生の皆さん、おめでとう。村橋・フロンティア奨学金は、1939（昭和14）年に神大の前身である横浜専門学校を卒業し、社会で活躍された村橋三好さんから大学に寄付して頂いた基金に、大学当局や当クラブ会員の寄付金を加え1999（平成11）年に『村橋・フロンティア奨学金』として創設したものです。以来、本年度は9人の学生に給付となりますが、昨年度まで毎年10人の学生に給付してきました。東日本大震災1年後の2012（平成24）年から2014（同26）年は、被災学生合計12人にも給付しました。
今年の奨学生9名は53人の応募者の中から選ばれた、いずれも明確な進学目的を持つ勉強意欲のある学生ばかりです。奨学生としての自信とプライドをもって、一生懸命に学生生活に取り組んでほしいと思います。
卒業後、社会で大いに活躍し、いつの日かフロンティア会員となって、後輩を支援する側に回る事ができるよう期待しています。
奨学生は、村橋・フロンティア奨学金への感謝の意と村橋・フロンティア奨学生として誇りを持ち大学生活を送っていききたいと力強い決意を述べた。
（役職は平成29年7月6日時点）

平成29年度 村橋・フロンティア奨学金

っていましたが、まさか自分が大学に行くなんて考えてもいなかった。「働くんじゃない？」なんて、漠然と答えたような気がします。大学生になることに憧れはありましたが、自分にそれ程の学力があるとは思えず、何より学費が高いことは知っていたので、まずありえないと思っていました。しかし高校で多くのことを学んでいくうちに、学ぶことの楽しさ、そして大学への興味が芽生えてきました。「大学に行きたい」、そう伝えることはとても勇気がいることでしたが、私の両親は笑顔で「お金のことは気にしなくて良いから自分のやりたいことをやりなさい」と言ってくれました。子供は親を選ぶことができない、そんな言葉もありますが、私は、父と母の下に生まれてくるのができて本当に良かったと心の底から思っています。
だからこそ、両親、そして多くの人への感謝を忘れず、日々努力を積み重ねていきたいと思っています。何より、奨学生になれたことを誇りに思い、胸を張って多くのことを学んでいこうと思います。

箱根交流会

大いに親睦を深めた箱根交流会



ゴルフの会参加者で記念撮影

「明るく、楽しく、和やかに」をモットーとする春の箱根交流会が4月21、22日、神大箱根保養所で開かれた。
ゴルフの会は、実方誠一副会長がメンバーの富士ゴルフ倶楽部で行われた。村田龍也会長や元本学理事長の白井尚さんなど16人の参加があり、グロススコア98〜127までのとても楽しいゴルフ会となった。
午後6時から始まった懇親会にはゴルフの会参加者に加え、新緑と温泉を楽しもうと駆けつけたフロンティアクラブ大好きメンバー13人も参加。懐豊かな参加者が持参した珍しいお酒やめったに手に入らない焼酎、また、高級

賞金目当ての大じゃんけん大会



ウイスキーなども大量に持ちこまれた。賞金目当ての大じゃんけん大会で懇親会は絶頂に。一次会で飲みきれなかったお酒を持参したまま二次会へ。演歌の大好きな人用にと「急ぎしらのカラオケスポット」でのど自慢大会も。大学の将来像や社会問題などについても熱い議論を交わしたり
「魚の干物詰め合わせセット」（千円とか）は今回も人気で、家族への土産として評判が良かった。
世間的には前期高齢者、後期高齢者などと言われる参加者が多いが、マッカーサー元帥が座右の銘として執務室に飾ったサミエル・ウルマンの「青春の詩」に出てくるような、いまなお青春と明るく元気に活躍する人ばかりで、いつものことながら箱根交流会はフロンティアクラブの活動に欠かせない催しとなっている。
（原柳作）

箱根交流会

事務局からのお知らせ

●紅葉と温泉を楽しむ懇親の会
▽日時：12月1日（金）～2日（土）1日 午後5時
現地集合（午後2時からチェックイン可）▽宿泊場所：神奈川大学箱根保養所（箱根町大字千石原1104-1）TEL 0460-84-9611
宿泊費：8000円（1泊2食付、お酒・特別料理含む）、懇親会のみ：6000円 ※詳細は別途お知らせします。（ゴルフの会または温泉を楽しむ懇親会のみ参加も歓迎）

●ゴルフの会
▽日時：12月1日（金）8時20分現地集合
▽会場：富士カントリークラブ（御殿場市東山2472）TEL 0550-82-1616
▽会費：特別価格14,688円（プレー代、キャディー付、賞品代、食事代は別途）▽募集人数：6組（24名）▽参加資格：会員、神大教職員、神大卒業生 ※表彰式と懇親会は神奈川大学箱根保養所で「紅葉と温泉を楽しむ懇親の会」の参加者と合同で行います。

フロンティアサロン

●第98回フロンティアサロン
▽日時：11月15日（水）午後6時より▽会場：神奈川大学（横浜キャンパス3号館305教室）▽講演テーマ：「なぜ人事部は嫌われる？」▽講師：荻原 博（昭和47年 貿易卒）▽会費：会員1000円、一般2000円

●第99回フロンティアサロン
▽日時：平成30年1月17日（水）予定▽会場：神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター▽講師：現在選定中

●第100回フロンティアサロン
▽日時：平成30年3月14日（水）予定▽会場：神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター▽講師：現在選定中

神奈川大学フロンティアクラブ総会

●神奈川大学フロンティアクラブ 設立20周年記念総会
▽日時：平成30年2月17日（土）14時より
予定▽会場：ホテル横浜キャメロットジャパン ※12月下旬より順次ご案内いたします。

フロンティアクラブ会員紹介

中尾 陽一

いまだ卒業せずに



工学部機械工学科、大学院修士課程を卒業

工学部機械工学科、大学院修士課程を卒業し、そのまま神奈川大学工学部の助手として奉職する機会を頂きました。以来、学びながら教える日々を過ごしてきました。その間、助手時代に東京工業大学から学位を取得し、その後、日本機械学会賞やいく

つかの論文賞も頂くことができた。今日、母校の教授として働けることは、卒業研究から助手時代にご指導を頂いた浦田映三先生を始め、多くの諸先生、諸先輩方のお蔭であります。次は私が後進育成に力を注ぎ、皆様に戻返しをさせて頂く番です。依然として、学びながら教える日々が続いていますが、後輩

でもある学生・院生の指導に際しては、少しでも多くの卒業生が社会の各分野で活躍できるようなことになることを心掛けています。その結果、フロンティアクラブの皆様の後を継げる人材を増やしたいと思えます。研究室を巣立った卒業生の多くが各分野で活躍しはじめていることは、なにより嬉しいことです。フロンティアクラブの皆様、どうか今後とも学生・院生諸君、若い卒業生へのご支援を宜しくお願い申し上げます。(昭和63年院機械修了)

間中 晟 旅の原点は香港にあり



大学2、3年次、まだ元気があった伊勢佐木町の野澤屋でN商事派遣の雪印の販売をした。中元・歳暮の時期はチーズ等詰め合わせが飛ぶように売れた。時間給は一般より高く、ボーナスも出たおいしいバイトだった。

昭和43年に貯めた資金で仲間3人と香港のマカオ旅行に。米国クリーブランド号の最安値の船底で横浜を出港する。旅行中驚いたいくつかを紹介する。①船で暑いのにいつも腹巻をしている。おっさん。が下船前にやっとな理由を教えてください。中には200万円の札束。マカオで宝石を買い、帰りは貨物船

で九州から入国するという。(税逃れ) そうしないと儲からないらしい。②香港に到着するも宿の手配はしていない。朽ちた簡易宿に泊まる。真夜中、激しくドアをたたき音。香港警察(当時英国領)の2人が銃を構え、ズカズカと入ってくる。本物かニセ者か?一瞬たじろぎ殺されるかと思っただ。麻薬・密輸の捜査だった。その後は恐ろしくて眠れなかった。③翌日は船で友人になった遊

熊谷 耕史

アルバイトがきっかけで旅行業へ



昭和50年4月入学。高校卒業後の工務店勤務を経て苦学生としての出発した。

僅かな貯金と親からの幾ばくかの援助と日本育英会の特別奨学金で大学生活を乗り切りました。本学を選じた理由は2つ。び人風の香港人に頼み込み、悪名高き治外法権の九龍城へ行く。(啓徳空港と共に今は公園になってる) パンツ、シャツをヨレヨレに汚し顔までも絶対に喋らないことを条件にゆつくりと地階へ。ポタポタと液にカビ臭い。麻薬とアルコールの臭いが鼻に付く。進むと賭博場、そして怪しいお姐さん達も残念!! 紙面オーバーでここまで。(昭和44年経済卒)

海外へのゲートウェイ、やんちゃで洗練されたミナトYOKOHAMA。正に横浜の地で神大に在学した空間と時間が今の私を培ったのだと思感謝しております。微力ではありますが、フロンティアクラブの諸先輩のご鞭撻を賜り、優秀なる後輩諸氏の自己実現にお手伝いできればと思うところでもあります。(昭和54年経済卒)

ていく所存です。この奨学生に採用していただいたことを誇りに思い、奨学生として恥じぬよう行動して行こうと思います。この度はありがとうございました。情報システム創成学科2年 男子学生

情報システム創成学科2年 男子学生

この度は、「村橋・フロンティア奨学金」の奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。私の家庭では母は私の付き添いのために働くことができず、父の収入だけでは学費を賄うことが出来ず、家計は厳しい状況であります。このような状況の中、奨学生に採用していただきました。そのため、この奨学金は学費の工面に使わせていただき、私は勉学に精進していこうと考えております。

私は将来、情報システムの研究を行い、社会・世界にとってより良い技術を開発し、文化を構築できるようなグローバルな視点を持った工学者になりたいと考えております。そのため、現在情報システム創成学科に在籍しており、コンピュータや数学、プログラミング等について学んでいます。特に私は、情報

セキュリティや暗号理論について興味があり、現在、本を読むことにより勉強しています。また、研究を行うためには、英語力が必要になる場面があると思えます。そのため、TOEIC等の資格試験の勉強だけでなく、英語の本や記事を読むことにより、英語の実践力を高めるべく、大学時代のうちに英語を習得したいと考えております。

自治行政学科2年 女子学生

今回は、村橋・フロンティア奨学金の奨学生に採用していただき本当に有難うございました。このような機会を与えて頂き心より嬉しく思います。私は、神奈川大学に入学し今年で二年目になりました。学部は法学部なのですが、正直今は法律というものが難しいとは思っておらず、時には理解できない自分自身に腹が立つこともあります。しかし私は、神奈川大学に入

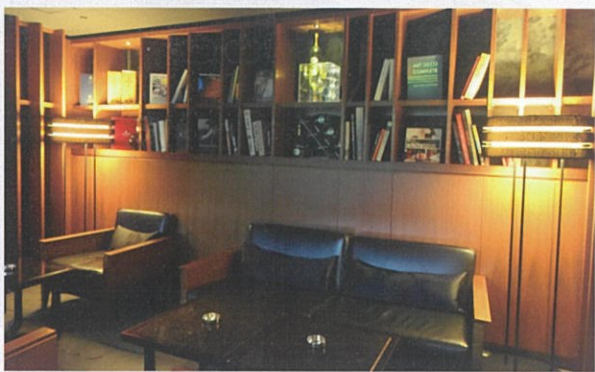
学して本当に良かったと思っております。それは、かけがえのない友人に出会うことができ、人と接することの楽しさを初めて知ることができ、そして、多くの人へ感謝することの大切さを改めて知ることができたからです。「有難う」と伝えたい人は多くいますが、私には一番に感謝をしたい人達がいます。それは、私の大切な父と母です。私は高校1年生だった時、「卒業したら何をしますか?」と母に聞かれた記憶があります。指定校推薦で大学に行けることも知

人間科学科2年 男子学生

この度は、村橋・フロンティア奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。神奈川大学フロンティアクラブの皆様をはじめ、村橋・フロンティア奨学金に関わる方々に厚く御礼申し上げます。奨学生として非常に身の引き締まる思いです。私の家族は決して裕福な家庭ではない上、姉も私立大学の薬学部に通い、体調の芳しくない祖母への仕送りをしており、金銭的な余裕はありません。そんななかでも、両親は大学への進学を許可してくれ、学費まで払ってもらっている状況であり、感謝してもしきれません。今回、頂いた

奨学金は学費の支払いに充て、両親の負担を少しでも減らせたいと考えています。私は将来、地元を含めた地方の地域活性化に携わりたいという目標があります。現在はその目標に向け、社会教育主事や社会調査士といった資格の取得や必要な知識、能力の習得を目指して、それぞれの課程の講義や専門ゼミナールなどに力を入れています。特に社会調査士の資格は、住民の方の声を直接反映できる有用な資格だと考えており、更に上位の資格である専門社会調査士の資格まで習得できればと思っております。このような大学内での学びに加え、学外でもボランティアやアフタースクールでの活動などを新たに行い、実践的な力を身に付けていきたいと考えています。今後は、村橋・フロンティア奨学生としての自覚と誇りを持ち、神奈川大学での日々を有意義なものにしていきたくと思っております。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 第97回フロンティアサロン 施設見学会を開催



重厚で落ち着いた雰囲気のあるザ・キャピトルバー

首相官邸を真下に見下ろし、衆参の議員会館や国会議事堂、広大な緑に囲まれた皇居まで眺められる都心の最高級ビルポイントはどこか。

そこは千代田区永田町にそびえ立つ地上29階建ての「ザ・キャピトルホテル東急」のザ・キャピトルスイートルーム(29階、218平方メートル、泊80万円)。

このような減多に入ることのできない日本を代表するホテル、隣接する日枝神社の見

施設見学会は、清水建設建築技術研究所、横須賀軍港巡りと戦艦三笠に続き3回目。今回は、運営委員の飯田敏一さんのご尽力で同ホテル総支配人の末吉孝弘さん(東急ホテルズ取締役執行役員、S60経済卒)にお願いし実現。同ホテルの水鏡(日本料理)やザ・キャピトルバー、前述したスイートルームなどホテルの特長的なところを見学。多



日枝神社社殿前で記念撮影

多くの従業員の先頭に立ってアグレッシブに日本一、世界一のホテルを目指す氏の熱い思いに触れた。懇親会は広々とした宴会場で、丹精こめた料理に参加者一同は感謝、感激でした。改めて、末吉総支配人にお礼を申し上げます。

▽日枝神社 社格の高い官幣大社(制度自体は第二次大戦後に廃止。都内では他に明治神宮のみ。ホテルに隣接し、徳川家康をはじめ歴代将軍が篤い崇敬を寄せた。山・水を司り、万物の生成発展を守護する神として、多くの人々の崇敬を集める。年間500組以上が参式し、東京のパワースポットとしても知られるため、皇居の裏鬼門を護り強大な神威にあやかるうと方位除け、厄払い、縁結び、子授かり、安産などを祈る人々が後を絶たないという。

からの金銭面の援助は一切なく、アルバイト代で生活費などを補っていました。食費などを含む生活費や、医療費、教科書代、検定の受験料など、日々の支出により、生活が安定せず、勉強よりもアルバイトを優先してしまふ事が多かったです。しかし、今回の奨学金をいただいたおかげで、生活費などの心配をせず、勉学に集中することができるとを本当に嬉しく思います。私は英語を使い同時通訳の道に進みたいと考えており、そのため今できることを日々行っています。

神奈川大学は、少人数制のクラスやネイティブの講師の方々が授業を行ってくれるなど、英語を学ぶのにとっても良い環境にあり、また周りの仲間達と日々お互いの夢に向けて勉学に励んでいます。これからも、語学力の向上や、検定試験のスコアアップなどを目標に努力していきたいと思えます。また卒業するまでに、ボランティア活動などたくさんの方に挑戦したいです。この感謝の気持ちを忘れず、残りの学生生活とこちらの奨学金を有意義に活用し、本来の

大学へ進学した目的を遂行できるように日々励みたいと思えます。多くの方々によって支えられ生活できているという意識と責任を持って行動していきたいと思えます。自分のやりたいことを学べる事のありがたさを忘れず、色々な事を吸収し、成長していきたいです。奨学生としての自覚を忘れず、支えて下さっている方々のご期待に恥じぬよう、学生生活を送りたいと思えます。

最後になりますが、村橋・フロンティア奨学金に関わっておられる皆様、本当に有難うございました。

#### 国際経営学科2年 女子学生

この度、平成29年度村橋・フロンティア奨学生に採用していただきありがとうございます。数多くの志願者の中、選ばれたことを大変嬉しく思います。採用されたその日に両親に報告した際、両親もとても喜んでくれました。私の両親は共働きで福島県の自宅にて飲食業を営んでおり、私と兄の大学の学費や生活費の一部を払ってくれていますが、両親には感謝してもしきれ

ません。私は、数多くの両親の支えがあり大学に通っています。大学を卒業後に就職してから、両親にはしっかりと恩返ししていきます。大学生活や一人暮らしにも慣れ始めてきたため、これからさらに勉学に励んでいきたいと思えます。

この夏、神奈川大学経営学部のSAプログラムで初めてイギリスで海外留学をしています。平日は大学に行き、英語を使って会話をしたり学んだりしています。英語学習は、今まで日本でもたくさんしてはいても話すことはなかなか難しく感じますが、友人や他国の留学生やホストファミリーと会話し英語を話す機会を増やしたことで、以前より向上したと実感しています。休日は観光に出かけたりしながら自由な時間を過ごしています。文化も慣習も違うので新しい発見がたくさん見つかり、面白いです。将来は、英語を使って海外の人とも一緒に仕事をできるような人になりたいと思っています。将来の夢はまだはっきりと決まっていないので、これから様々なことを経験し自分の納得のいく職につけるよう努力し

#### 数理・物理学科1年 男子学生

この度は、村橋・フロンティアの奨学生に採用していただきありがとうございます。私の両親は、私が2歳のときに離婚し、それ以来、母が女手一つで私の成長を支えてきてくれました。母は62歳という高齢ながらもフルタイムのパートで働いて私を養ってくれています。しかし、体力的に厳しくなりはじめ、生活費を得るのが一杯の状況で学費を賄う余裕はありませんでした。また、交通費や教材費などにも多くの費用が掛かります。どうか少しでもアルバイトをすることも考えましたが、通学に二時間かかる上に、授業の予習や復習、試験勉強などに時間をあてる余裕がなくなりました。また、大学に行くなら勉学に専念したほうが良いと母に言われ、私もそうしたいと考え、ようになりまし。そんな中、貴会の素晴らしい奨学金を受けることができるとも感謝しています。

私は現在、理学部の数理・物理学科に在籍しています。大学では数学をより深く学びたいと考えているので数理コースを選択しました。大学の数学は高校よりもとても厳密で、抽象的になり、証明を多くするようになりました。以前から証明に興味を持っていて私にとってはとても楽しく学べています。しかしその分難しくもなり、真剣に学習しないと十分に理解ができなくなりまし。現在は図書館などを大いに活用して勉強しています。図書館は沢山の専門書の中から自分にとって分りやすい書籍を選んで勉強できるので、毎日通って勉強しています。私はこれからの大学生活で、数学を深く学んで、卒業後は大学院に進学して数学の研究をしたいと考えています。また大学院では論文や発表などで英語を使う機会がとて多くなります。英語はあまり得意ではないので、日々コツコツ勉強して英語を得意にしていきたいです。特に現在はTOEICのスコアを高めることをひとつの目標

### 相神 一裕



私は1981(昭和56)年3月、経済学部

経済学科を卒業した相神一裕と申します。先日、皆様方フロンティアクラブ総会で菓立つ若者たちへの講演をさせていただき、皆様の母校への愛情と後輩たちへの思いを強く受け、今回フロンティアクラブに参加すること

### ESSの活動が原動力に

にいたしました。さて私が神奈川大学に入学したのは1977(昭和52)年の4月で当時はまだ学生運動のさなかでした。私たちの世代が学生運動を体験した最後の世代だと思います。そんな中で神大入学当初から、将来は国際的な仕事をしたいとサークルはESSを選びました。当初は安易な気持ちで入部し

たのですが、サークルの活動は非常に活発で英語ができる人が相違ありません。中でも外国語学部英文科の方々はかなりのハイレベルの英語力でした。英語で議論する題材も、例えば日本の防衛力を強化すべきか、日本は難民を受け入れるべきか、牛肉の関税をあげるべきかなど正直、大学の授業よりもこのESSでたくさん自分のことを自主的に学んだことが私にとっては大きかったです。またこのESSで一生の友達も得たことは、私にとってかけ

がえのない宝となりました。今でも同期たちとは年に一回必ずあっています。1981年に卒業後は、接着剤でも名が知れている化学メーカー・セメダイン株式会社に就職しました。1990(平成2)年に株式会社ケンウッド(当時)に転職。通信機の海外販売に携わる国際営業本部に配属となり、1994(平成6)年4月にアメリカに赴任しました。その時は36歳でした。いきなりアメリカ人のマネージメントを経験することにになり、日々悩むことが

多くなりました。一方で、その期間に学んだことが帰国後の会社のマネージメントに大いに役立つことになりました。現在、株式会社JVCケンウッドで役員をやっていますが毎月海外出張で多忙な日々を送っています。神奈川大学のおかげで若いころの夢を実現できたことを振り返ると、ESSで出会った仲間と本気で議論し、喜びや悔しさ、そして達成感を味わったことが私にとって原動力になった気がします。(昭和56年経済卒)

はじめまして。この度、村橋・フロンティア奨学生に採用していただきました外国語学部スペイン語学科の学生です。初めに、奨学金をいただいたことにお礼を申し上げるとともに、これからの学生生活を充実させ、卒業後も社会へ貢献できるように努力致しますことをお約束します。本当にありがとうございます。こうして奨学生となれたことを両親はもちろん兄弟も喜んでくれました。入学してから勉学に対して真剣にやってきましたが、さらに背筋の伸びる思いで授業に臨み、友人からは「何かあったでしょう。力みすぎだよ」と変な目で見られました。ともあれ、お礼文を書いている今は、定期試験も全て終え、夏休みを楽しく準備をしているところでございます。

さて、今回喜ばしいことに奨学生となった私には大きな夢があります。大学在籍期間中に留学をし、卒業後は旅行サービス関係の仕事に就く、ということも内所で働きたいと思っています。2020年に2度目の東京オリンピックを控え、日本には外国人旅行者が増加しています。最近、観光地でのトラブルがニュースになっていますが、旅行者により日本経済が潤うのは事実でもあると思うのです。世界共通語である英語はもちろん、専攻しているスペイン語を習得し、日本の魅力をより多くの人に知ってもらえる仕事をしてみたいのです。そのためには、なんとなく住んでいる日本をより客観的に理解し、どこがどう素晴らしいのか知る必要があります。私が一番好きな所は、生卵や生魚(刺身)が食べられる国である

という事です。あまり旅行をしたことがなく日本を世界とどう比較させればよいか分かりませんが、これから少しずつ知識と経験を増やしていきたいと思っています。繰り返しになりますが、今回は本当にありがとうございます。学生の本来である勉学はもちろん、将来の夢に向かって情報・知識集めにも精を出して行きたいと思っています。

この度は村橋・フロンティア奨学生として、採用していただき心から感謝申し上げます。採用の御連絡を頂いたときは、言葉にできないほどの嬉しさでした。今回の奨学金を生活費や検定などの試験に向けた勉学の費用等として、適切に使わせていただきたいと考えております。私の家は母子家庭であり、親

スペイン語学科1年 女子学生

# 「村橋精神」に感謝

平成29年度村橋・フロンティア奨学生から寄せられたお礼の言葉を紹介します。

経済学科1年 男子学生

まず始めに、今回の奨学生に採用していただき感謝申し上げます。

私の家は母子家庭で経済的にかかなり厳しい家庭環境です。その中でも母は、兄2人を大学に進学させ、私も進学をさせてもらいました。私は「日本学生支援機構」から奨学金を受けておりますがそれだけでは足りず、不足分は母が負担してくれています。私もアルバイトをしております。少しでも母の負担が減るように頑張っております。その中で神奈川大学が募集している奨学金があると知り、給付型の奨学金欄を調べていたところ、「村橋・フロンティア奨学金」などを知り、「通ればラッキー」という軽い気持ちで出願をしました。採用されて奨学金授与式で理事長や学長のお話を聞いたとき、奨学金の中でも村橋・フロンティア奨学金はとても重要なものなのだと思いました。だからこそ授与式後は、奨学生としての自覚を持つように心がけたい

と考えております。そして何よりも母の負担を減らすことができて、うれしく思います。抱負は、大学をきっちり4年間で卒業するための勉学を頑張ることです。奨学金を頂いていますので、ちゃんと4年間で卒業することを目標に日々勉学に励んでいきたいと思っております。さらに大學生でしか経験できないこと、部活や大学でできた先輩や友達との交流などを大切にしながら卒業してからも大学生活が楽しかったと思えるように過ごしていきたいと考えています。

まだ明確に将来のことは決めておりませんが、村橋・フロンティア奨学金の援助を受けていますので4年間で卒業し、ちゃんと就職できるようにしたいです。そのためにも、大学で得ることのできる知識や経験を就職でも活かせるように様々なことを経験して、見聞を広げられるようにしたいと考えております。村橋・フロンティア奨学金を無駄にしないよう努力をしたいと思っております。

英語英文学科2年 女子学生

新たな研究分野として高齢者が自身の課題を整理する「エンディングノート」の普及と「買物弱者対応」の研究をしています。

# 「もしもに備えるエンディングノートを書きましよう」

(平成29年3月15日講演)

小林二三夫  
横浜商科大学商学部教授



この度、入会したばかりにも関わらずフロンティアクラブでお話をする機会をいただきました。ありがとうございます。

私は、昭和48年3月に貿易学科を卒業し、時計会社に就職して輸出をしていました。入社数年後に、(株)イトーヨーカ堂が海外部を創り本格的に輸入をするというので、そちらに転職をして約30年間、海外での商品開発から貿易実務、販売までの仕事を経験しました。海外部及び資金証券部の責任者を経て大学教員に転じました。

約3年前に横浜商大が横浜市鶴見区と包括連携協定を結び、「エンディングノートを書く」という運動を活動の1つとしています。これは、学問的には「老年学」(Gerontology)の一部です。老年学は、1938年に米国ミシガン大学に研究所が設置され研究が本格的に始まり、米国では良く知られる学問になりましたが、日本ではあまり馴染みのない学際的な学問です。高齢社会に起こる個人と社会のさまざまな課題を解決することが目的です。高齢化に関するすべての研究を包括するため、取扱う研究範囲は極めて広くなります。日本では、平成9年の厚生労働白書で老年学の必要性が書かれたことで注目を集めました。私の本来の研究分野は、流通小売分野、貿易ビジネス分野ですが、この数年、日本老年社会学会の会員になり、

今年、「エンディングノートの書き方について」フロンティアクラブでお話をしましたのは、調査(横浜商科大学の調査)によると、エンディングノートを知っている人(88%)は多い一方、エンディングノートを書きたいと思っている人(44%)もの、実際に書いている人は7%と少ないからです。

エンディングノートの本来の目的は、どの様に年齢を重ねてきたかを振り返りつつ、これからの人生をどのように生きていきたいかを考えるきっかけにしたいです。また、病气や判断力が低下した時に家族が困らないように、自分の希望がかなえられ

るようになるものです。エンディングノートは、遺言書と異なり法的な効果はありませんが自由に書けることから書き、自分の気持ちが変わったら修正をしておけるなどメリットがあり

ます。身体について、家族・親族・友人について、お金・財産について、葬儀・お墓について、遺言書・相続について、メッセージなどを書くのが一般的です。(昭和48年貿易卒)



「エンディングノートは、過去を振り返り、これからどう生きるかを考えるキッカケとなる」と語る小林教授